

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 令和5年4月24日 No,3 文責 渡邊

令和5年4月21日（金）の夕方、桑村小学校の職員全員が参加し、畑の畝（うね）作りを行いました。本校は豊かな自然に恵まれています。そうした環境をいかに活用できる農業体験は、桑村小学校の大切な学びの場です。農作業の講師は、本校職員の岩城さんが務めました。これまで岩城さんは、耕運機で畑を耕す作業を行ってくれるなど準備を計画的に進めてくれました。本日の作業でも鍬を手に、畝の作り方の見本を示してくれました。



【岩城さんの見本】



【職員の畝づくり①】



【職員の畝づくり②】



【堆肥をまく職員の様子】



【マルチを張る作業①】



【マルチを張る作業②】

この後、獣が侵入できないようにサツマイモを植える予定の畝にネットを張る作業を行いました。畑で作物を収穫するまでにはいろいろな作業を行うことが、本日の作業から私たち教員も学ぶことができました。

桑村小学校の子供たちがとても素晴らしい児童であることは、これまでいろいろな紙面で紹介しています。今回は、本校職員も素敵な存在であることをお伝えしたいと思います。それは、本日の作業において、笑顔で協力して作業を行う姿にすることができました。上の写真からもその様子を感じることができるのではないのでしょうか？

隣の畑を管理している方が、「うらやましいね。みんなで楽しく農作業をしている先生たちがいる学校は最高だね！」と笑顔で校長に語りかけてくれました。全職員で楽しく作業を行うことのできる学校は、教育活動においても楽しく業務に専念できる環境にあります。子供たちは、こうした和気あいあいとした教員の雰囲気をととても喜ばしく思うはずです。大人も子供も温かな雰囲気の中で学ぶことのできる桑村小学校は最高の小学校です。今日も幸せをいっぱい感じる事ができました。本校職員に感謝！ありがとうございます！